

所 属 株式会社小泉川養魚場

氏 名 おぐら ちひろ  
小 椋 千 裕 (44 歳)

漁業種類 サケ・マス類の養殖



### ～強く優しい養魚場の若旦那～

「西日本一の養魚場をめざす」という高い目標を掲げ、日々関金の大自然のなかで魚と向き合っている小椋さん。生半可な気持ちではない。そのためには常に飼育している魚のことを考える必要があり、そのことが大変だと語る。広大な土地で莫大な数の魚を飼育する小泉川養魚場ならば、なおさらだ。

一方で「育てた魚を出荷し、お客様に喜んでもらった時、やって良かったと思う」と言いながら、煙草をふかす。卵から出荷まで一貫して自分の手で魚を育てられる養殖業を営むからこそ言えるその言葉は、力強く、頼もしい。

筋肉質で大柄な小椋さんが大切にするのは、人とのつながり。休日であろうと知り合った人たちとは SNS で情報交換を積極的に行う。仕事中は同業者やお客様と触れ合うことが癒しの時間であり、談笑しすぎることもしばしばだそう。そのぬくもりを魚にも注ぐ。「親父が養殖しとったけえ、最初から継ぐ気だった」と静かに語るその姿に、目標達成の日は近いと確信した。

### ～多趣味のハンター～

音楽、映画鑑賞が趣味という小椋さん。仕事の無い日は、美味しいものを探してぶらり旅をすることもあるそう。さらに今年からハンターの資格を取得したので狩猟も始める。「山奥だから獲物は山ほどおる」と笑う。これからは育てた魚だけでなく、自分で獲ったジビエが家族団欒を彩る。

(文責：徳安 理敬)